

北緯40度 そぞろある記



休耕地でワラビ栽培

休耕地の解消を目指し村農業委員会（正路^{まさかつ}正明会長、委員10人）が進めているワラビの試験栽培が順調に進んでいます。5月14日には緑区にある中居弘栄さん（太田名部）所有の転作田に同委員5人が集まり、30～40センチほどに成長したワラビを

手に「立派なもんだ」と笑みをこぼしていました。正路さんは「苗を移植してから4年たってやっとできた。まだ山のものよりは細いが、来年は期待できそうだ」と話していました。皆さんは成長の具合を見たり、雑草を取ったりして（写真）試験栽培の成功を願いました。



鵜鳥さんに願い託す

村鳥居地区の鵜鳥^{うのとり}神社（熊谷一文宮司）の例大祭が5月24日行われ、村内外から訪れた参拝客が思い思いの願いを託しました。（写真）

神社を訪れたれた皆さんは、遥拝^{ようはい}殿をはじめ卯子^{うねと}西山（424メートル）の頂上付近にある本殿を参拝。神楽殿では鵜鳥神楽が奉納され「山の神」「恵比寿舞」などを楽しむ方ではぎわいました。

例大祭は旧暦の4月8日に開かれ、大漁や海上安全、家内安全、縁結びなどの祈願に毎年たくさんの方が訪れます。

割澤遺跡の調査始まる

割澤遺跡の発掘調査が5月16日から始まりしました。（財）文化振興事業団埋蔵文化財センターの調査員2人と作業員23人で、3,170平方メートルの調査に望みます。6月4日は「表土はぎ」という表面の土を取る作業が行われ、重機で慎重に土を取り除いていました。（写真＝西側から撮影）

割澤遺跡は江戸時代に操業された割澤鉄山として知られ、役場から南南西約5キロに位置する北上山地から流れる川沿いの山間地。発掘調査は農用地総合整備事業下閉伊北地区（普代一岩泉間道路工事）に伴うもので、7月31日までの予定です。

